

# CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

■使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)連絡ロビー・エネルギー施設	階数	地上8階 地下1階
建設地	神戸市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	48人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2021年3月22日
敷地面積	9,513 m <sup>2</sup>	作成者	丹下直洋
建築面積	956 m <sup>2</sup>	確認日	2021年 月 日
延床面積	4,631 m <sup>2</sup>	確認者	〇〇〇



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 2.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.9

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 CASBEE神戸の重要項目		
<b>バリアフリー計画</b> Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0	<b>建築物の耐震性等</b> Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 5.0 Q-2/2.4 信頼性 5.0	<b>まちなみ・景観への配慮</b> Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 5.0
<b>配慮の概要</b> バリアフリー新法の建物移動等円滑基準を満たし、さらに建築物移動等円滑誘導基準を極力満足させる計画とする。		
<b>配慮の概要</b> 本建物は3階と4階の間に免震層を設けた中間層免震構造を採用しているが、免震階、非免震階ともに大地震時においても構造躯体が損傷しない(短期許容応力度以下)ことを目標としている。		
<b>配慮の概要</b> 基壇部分は既設1号館外装と同材で構成し、連続した緑地空間を形成。中段部は、既設1号館外壁近時の色彩で単調なマスヴォリュームの印象にならないようにランダム貼りにて構成。高層部は、街並みに調和させるため、ヴォリューム感を軽減したアルミカーテンウォールを設置。		
<b>その他の配慮事項</b>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される